

自然エネルギー活用による自治体間連携の仕組み構築に向けた
川場村との協定締結について

(付議の要旨)

友好自治体である群馬県川場村より、平成29年1月稼働予定の木質バイオマス発電による電気を、区民及び区へ供給したい旨の申し出があった。自然エネルギーの活用拡大に向け、この申し出を踏まえ電気供給等の具体的な仕組みを検討するため、川場村との間で「事業協力協定」を締結するので報告する。

1 主 旨

エネルギー施策については、区の環境基本計画において「地産地消」と「交流自治体等との交流・連携」により、自然エネルギーの活用拡大をめざすこととしている。こうした中で、総合戦略策定に向けた首長会談において、友好自治体である川場村より、木質バイオマス発電による電気を区民及び区へ供給したい旨の申し出があった。区としては、電力の小売自由化がスタートする中で、この申し出を自然エネルギー活用拡大に向けた好機と捉え、電気供給等の仕組みの構築に向け、協定を締結し具体的な検討を進める。

2 自然エネルギー活用による区と川場村連携の意義

自然エネルギーの活用を通じ、区民の環境意識の醸成と行動に繋げる。
区と川場村による自然エネルギーを通じた連携の仕組みを他自治体にも展開し、自治体間連携の拡大を図る。

3 事業協力協定と協議内容等

(1) 事業協力協定 (案)

別紙1のとおり

(2) 主な協議内容

川場村産電気を区民及び区が購入できる仕組みづくり

区民及び区が、川場村産の木質バイオマス発電による電気を選択し、購入できる仕組みを構築する。

区民・村民が発電事業に参加する仕組みづくり

発電事業に対し、区民・村民が寄付や投資等を通じて、参加する仕組みを構築する。

(3) 協定締結

平成28年2月15日 (月)

4 検討の進め方

上記3の協定内容を具体化するため、川場村並びに区を事務局として、発電事業に関わる事業者や関連団体による協議会を設置し、具体的内容の検討を進める。

(1) 構成

川場村、世田谷区、事業者である(株)ウッドビレジ川場を基本とし、(株)世田谷川場ふるさと公社、東京農業大学、清水建設(株)のほか、検討の進捗に合わせ電力事業者や金融機関等関係団体に参加を求めていく。

川場村と東京農業大学及び清水建設(株)は、自然エネルギーによる発電事業の実施に向け、「元気なふるさとづくり協定」を締結している。

(2) 設置時期

平成28年3月予定

(3) モデル事業の検討

川場村産電気を購入する区民を募集し、満足度、付加サービスに対する評価などを検証するためのモデル事業の検討を行う。

(4) その他

本事業の検討にあたっては、可能な限り環境省等の支援を求めていく。

5 他自治体への展開

本事業の実施状況や連携の仕組みについては、昨年11月に設置した「自然エネルギー活用による自治体間ネットワーク会議」等を通じ、他自治体に展開していく。

6 今後の予定

平成28年	2月10日	環境・空き家等対策特別委員会報告
"	2月15日	川場村と世田谷区による事業協力協定締結
"	3月	協議会発足
"		売電候補(小売電気事業者)選定(川場村・区共同)
"	7月	木質バイオマス発電設備整備着工(川場村)
"	12月	小売電気事業者との契約(川場村)
平成29年	1月	発電設備稼働予定(川場村)

【参考】川場村における木質バイオマス発電の概要

発電方法

主に川場村の森林資源を活用したバイオマス発電

発電備事業者(運営事業者)

(株)ウッドビレジ川場

(株)ウッドビレジ川場は、川場村、(株)世田谷川場ふるさと公社ほか3者の出資による事業体

発電所の概要

- ・発電出力：40kW
- ・初期投資：82,350千円
- ・稼働開始日：平成29年1月予定